

2023 年度事業報告及び決算報告について

2023 年度事業報告

今年度の大きな変更点としては、年度当初に千葉県社会福祉センターの新設移行に伴い当会の事務局も同センター5階へ移転したことがあげられる。

また、会の活動としては、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、対面方式の活動を増やし会議等はオンラインも生かしながら開催した。

事業予算について、事業活動に基づく適正な事業の執行について、予算執行管理の在り方と強化の必要性が生じ、次年度に向けての課題となった。

2022年度から開始した若年層の入会促進キャンペーン（30歳以下を対象に入会金及び年会費を入会年度に限り無料とする）を継続し、103名の入会者中10名が対象となった。

理事を中心に経営戦略会議を開催し、具体的な財政基盤の強化と組織率の向上に向けて検討、2023年度は、委員会組織の見直し、ソーシャルワーカー活動圏域と連動するための地域再編について議論を重ねる中で、その前提として、会員活動を後押しできる事務局機能強化のために体制整備を進めることとなった。

経営戦略会議の結果を受け、2022年度に、会員との交流を図る機会として開始した「談話室」を4回開催した。そのうち、総合相談委員会と共催したソーシャルワーカーカフェでは、既に開催してきた地域集会とは異なる参加者層につながるきっかけを作る場となった。今後は、議論の場を持つことから、具体的な作業を進めることに力点を移行し、経営戦略会議は終了し、三役会中心に会員活動を後押しできる事務局機能強化の体制整備を進めていくこととなった。

ソーシャルワーカーの団体として、会員の資質向上、キャリアアップを目指し地域共生社会実現に向け、その活動を継続していくために高齢、障害、児童はもとより、社会課題である、いじめ、貧困、ヤングケアラー、虐待防止、権利擁護等についても検討した。

各委員会における専門的な活動を継続するとともに生活の困窮、孤独・孤立で悩んでいる方々に対して、「孤独・孤立相談ダイヤル」の相談対応に内閣府の求めに応じて協力した。また、新規に千葉県より障害分野の意思決定支援研修を受託し研修を開催した。

各自治体の委員等の推薦については、基本的な選考基準と推薦依頼先の希望を考慮して推薦を行った。

ICT化の取り組みとしては、ぱあとなあ活報告システムの2年目の運用とペーパーレス化を開始した。順次、他の委員会等での活用を目指した。

ソーシャルワーク3団体として、千葉県医療ソーシャルワーカー協会、千葉県精神保健福祉士協会と協議を行った。

千葉県弁護士会、千葉県公認心理師協会を加えた5団体「福祉と司法の連絡協議会」では、「貧困問題に関する懇談会」、「暮らしとこころの相談会」への参加協力を行った。外国人の生きる権利を考える会に参画した。

日本社会福祉士会からの訪問による意見交換、関東甲信越地区ブロック協議会における情報や課題の共有を行った。

能登半島地震発生後に災害対策本部を立上げ、被災地支援の寄付や応援体制等について検討を開始した。

役員任期に伴う役員選挙について、選挙管理委員会を立上げた。候補者は定数により内定をした。

また、代議員選挙については前回同様に定数を満たすことができなかった。今後の会活動において会員の協力の在り方が課題として残った。

事務局体制の見直しを図り、臨時の派遣職員の採用、就業規則等の見直しも含めた社会保険労務士との協議、新たな会計・経理システム、税理士法人のフォローによる業務省力化のための準備を行った。また、事務局と各委員会の役割分担についても継続課題となった。

苦情相談について、前年度と比較して増えた。

1. 総会及び理事会の開催と会の運営

【総会】

第11回定時総会

開催日 2023年6月25日 千葉県社会福祉センター 大研修室
議案第1号 2022年度事業報告及び決算報告について（2022年度監事監査報告書）
議案第2号 役員の選任について
議案第3号 倫理委員会委員の選任について
議案第4号 ぱあとなあ運営委員会 前回報告の訂正について

【理事会】

第1回理事会

開催日 2023年5月14日 千葉県社会福祉センター3階 中会議室2
出席者 樽林、山口、古澤、白井、秦野、伊藤、瀧澤、松本、浅見、石橋、宮下、服部、高橋、片山、中村、吉留、市原、岡本、渋谷
欠席者 及川、四ノ宮、山下、水野、竹嶋

<議事・報告>

- ・ 新入会員の承認について
- ・ 倫理員委員選考委員2名の指名について
- ・ 2023年度第11回定時総会資料（案）について
- ・ 2022年度事業報告の承認について。
- ・ 2022決算報告の承認について
- ・ 監査報告について
- ・ 山下興一郎理事退任後の候補者菅野道生先生の承認について
- ・ 倫理委員会委員の選任について
- ・ 談話室の開催について
- ・ スーパービジョン時の当会 zoom 利用の許可について（研修委員会）

第2回理事会

開催日 2023年6月25日 千葉県社会福祉センター 大会議室
出席者 樽林、山口、古澤、白井、秦野、及川、瀧澤、松本、浅見、四ノ宮、石橋、宮下、服部、高橋、中村、水野、吉留、市原、岡本、渋谷
欠席者 伊藤、高橋、片山、山下、竹嶋

<議事・報告>

- ・ 新入会員の承認について
- ・ 選挙管理員の公募について
- ・ 各種委員会委員の追加承認について

第3回理事会

開催日 2023年8月27日 千葉県社会福祉センター3階 中会議室2

出席者 樽林、山口、古澤、伊藤、白井、秦野、及川、瀧澤、浅見、四ノ宮、石橋、宮下、服部、
中村、水野、吉留、片山、市原、岡本

欠席者 松本、高橋、菅野、渋沢、竹嶋

<議事・報告>

- ・ 新入会員の承認について
- ・ 選挙管理委員の公募状況について
- ・ 各委員会委員の追加承認について
- ・ ぱあとなあ規程改正について
- ・ 事業計画 予算提出、予算ヒアリングについて
- ・ 高齢者虐待研修の協力について
- ・ 保険証廃止に対する声明について
- ・ 学会出席の交通費支給について（司法福祉委員会）

第4回理事会

開催日 2023年11月5日 千葉県社会福祉センター3階 会議室中①

出席者 樽林、山口、古澤、伊藤、秦野、及川、松本、浅見、四ノ宮、石橋、宮下、服部、中村、
水野、片山、市原、渋沢

欠席者 白井、瀧澤、高橋、吉留、菅野、岡本、竹嶋

<議事・報告>

- ・ 新入会員の承認について
- ・ 就業規則の改正について
- ・ 「規程第37号電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規定（案）」について

第5回理事会

開催日 2024年1月21日 千葉県社会福祉センター3階 会議室中1

出席者 樽林、山口、古澤、伊藤、白井、秦野、及川、浅見、四ノ宮、石橋、宮下、服部、水野、
片山、菅野、市原、岡本、渋沢

欠席者 松本、瀧澤、高橋、吉留、中村、竹嶋

<議事・報告>

- ・ 新入会員の承認について
- ・ ぱあとなあ名簿登録規程の改正について
- ・ 能登半島地震における対応について

第6回理事会

開催日 2024年3月17日 千葉県社会福祉センター3階 会議室中2

出席者 樽林、古澤、伊藤、白井、秦野、浅見、四ノ宮、石橋、宮下、服部、中村、市原、岡本、
渋谷

欠席者 山口、及川、瀧澤、松本、高橋、吉留、水野、片山、菅野、竹嶋

<議事・報告>

- ・ 新入会員の承認について
- ・ 2023年補正予算について
- ・ 2024年事業計画について
- ・ 2024年度予算について
- ・ ぱあとなあ（名簿登録規程の改正、委員長・副委員長の手当、運営規程の改正について）
- ・ 司法福祉マッチング支援要綱の改正について

経営戦略会議

開催日 2024年9月13日 ZoomによるWeb会議

出席者 樽林、山口、古澤、宮下、及川、浅見、白井、服部、高橋、岡本、石橋、秦野

開催日 2024年9月28日 ZoomによるWeb会議

出席者 樽林、山口、古澤、伊藤、秦野、及川、服部、宮下、松本、白井（記録）

<議事・報告>

[経営戦略会議での意見]

- ・ 財政基盤の強化と組織率の向上に向けて経営戦略会議で意見交換
- ・ 委員会組織の見直し、ソーシャルワーカー活動圏域と連動するための地域再編について議論
- ・ 子ども若者支援へのサポートに向けた取り組みを委員会活動に位置づけ検討必要
- ・ 組織の見直し等を進める前提として会員活動を後押しできる事務局機能強化を優先して進める

[経営戦略会議後 来年度事業計画等での対応]

- ・ 会員相互の交流が有効な地域再編案を作成したが変更による弊害が生じる可能性もあるため、世話人間の連携による合同開催や、地域集会の弾力的な運営による会員交流の場の拡充を図る
- ・ 会員に活動機会を情報提供するため広報誌と連動した会員への情報共有を図る
- ・ 議論の場を持つことから、具体的な作業を進めることに力点を移行するため、経営戦略会議は終了、三役会中心に会員活動を後押しできる事務局機能強化の体制整備を進めていくこととした。

●「談話室」の開催

2022年度から、会員が、ふらっと立ち寄り、何とはなしに、語り合えたり、他の人が語り合っている話を横で聞いていたりできる場が欲しいねということで、談話室を設けた。会員相互の交流の機会として開催した談話室は、参加者が限られるようになってきたことから廃止し、地域集会の弾力的な運営による会員交流の場の拡充と広報誌と連動した会員への情報共有、県内各地での集いの開催へと方法の見直しを進めていく。

（第1回）5月27日 19:00～20:30 しゃべり場 オンライン

内容：地域共生社会への取り組み、精神的ストレスの負荷がかかる利用者との関わり

参加者：7名（うち役員5名）

- (第2回) 6月25日 15:00~16:30 しゃべり場拡大版 千葉県社会福祉センター5階大研修室
 内容:しゃべりたいテーマでの情報交換、委員会等活動紹介
 参加者:36名(うち役員11名)
- (第3回) 8月27日 14:00~15:30 新千葉県社会福祉センター3階中会議室2
 内容:しゃべり場 5年後の自分と会の取り組み
 参加者:5名(うち役員3名)
- (第4回) 10月21日 14:00~16:30 (株)ベストサポート(千葉市西都賀)
 内容:社会福祉士が活躍している現場を見学、ディスカッション
 参加者:9名(うち役員3名)

2. (公社) 日本社会福祉士会への活動参加

- 綱紀委員会委員 市原 久夫
- 多文化ソーシャルワークプロジェクト委員会委員 南野奈津子
- 全国生涯研修委員会議 浅見雅人
- 2023年8月27日 高齢者・障害者虐待対応に関する事業説明会(ZOOM)
岡本崇広、滑川里美
- 2023年度都道府県社会福祉士会会長会議 樽林元樹
- 2023年9月9、10日 日本社会福祉士会2023年度スーパーバイザー養成研修 藤田理恵子
- 2023年6月28日 2023年度 都道府県士会体制整備支援連続勉強会
遠坂貴志、梶原幸夫、白井正和、市原久夫、秦野隆治、大藤康弘、根本優子、飯田義也
古澤肇、吉武美樹
- 2023年8月11日 倫理綱領・行動規範伝達研修 講師養成研修
市原久夫、石橋大輔、浅見雅人、堀江亜希子
- 2023年9月2日 2023年度日本社会福祉士会臨時総会(第1回) 樽林元樹
- 2023年9月2日、3日 2023年度都道府県社会福祉士会会長会議 樽林元樹
- 2023年9月26日 2023年度都道府県士会体制整備支援連続勉強会第2回
古澤肇、四ノ宮章、石橋大輔、市川久夫、千葉あき枝、堀越広喜、遠坂貴志、白井正和
梶原幸夫、吉武美樹
- 2023年10月29日 2023年度都道府県ぱあとなあ連絡協議会
古澤肇、四ノ宮章
- 2023年11月22日 都道府県士会体制整備支援連続勉強会第3回
市原久夫、梶原幸夫、古澤肇
- 2023年12月1日 ぱあとなあ活動報告システム県士会説明会
古澤肇、石橋大輔、四ノ宮章、堀越広喜、安藤宏之、小川知美、長尾景子、助川純子、
太田知美、吉田愛子
- 2023年12月3日 2023年度 都道府県社会福祉士会実習指導担当者会議 近藤涼子
- 2024年2月4日 スーパーバイザースキルアップ研修 石山明子
- 2024年2月10日・11日 2023年度基礎研修講師養成研修 俵はるみ、藤田理恵子
- 2024年2月17日~18日 リーガル・ソーシャルワーク研修(ファシリテーター) 宮下朱実
- 2024年2月25日 都道府県社会福祉士会災害担当者会議 服部明、伊藤佳世子

3. 本会が推薦した各種委員等

【外部委員(推薦)】

- 千葉市社会福祉協議会千葉市成年後見支援センター 日常生活自立支援事業契約締結審査会、法人後見業務審査会及び市民後見人審査会委員 石橋大輔
- 市原市障がい者支援課 市原市障害者介護給付費等審査会委員
大戸優子、飯田俊男、佐藤滋洋
- 柏市社会福祉協議会 かしわ福祉権利擁護センター 令和5年度候補者調整会議
四ノ宮章、岡田敬、太田和美
- 千葉県後見支援センター契約締結審査会委員 櫻井絢子
- 柏市地域包括支援課 柏市権利擁護ネットワーク会議(全体会)、高齢者に関する専門部
会委員、成年後見制度に関する専門部会委員 古澤肇
- 流山市社会福祉協議会 流山市成年後見推進センター 地域ネットワーク会議委員
古澤肇
- 千葉県健康づくり支援課 令和5年度千葉県地域リハビリテーション協議会員
松本友寿
- 千葉県障害福祉課 「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」に基づく地域
相談員 朽名高子、白井正和
- 千葉県高齢者福祉課 千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会委員 谷口さなえ
- 浦安市社会福祉協議会 浦安市社会福祉協議会理事 市川恵子
- 松戸市地域包括ケア推進課 松戸市成年後見制度利用促進協議会委員 四ノ宮章
- 袖ヶ浦市社会福祉協議会 権利擁護支援定例会議アドバイザー 梶原幸夫
- 習志野市社会福祉協議会 法人後見運営委員会委員 安藤宏之
- 千葉県社会福祉協議会 千葉県ボランティア・市民活動センター
千葉県新地域支援事業推進協議会幹事 白井正和
- 佐倉市社会福祉協議会 佐倉市成年後見支援センター
受任調整会議及び運営会議構成員 高美修次
- 八千代市社会福祉協議会
八千代市成年後見制度利用促進協議会設立準備会アドバイザー 市川澄子
- 日本社会福祉士会 多文化ソーシャルワークプロジェクト委員会委員 南野奈津子
- 君津市社会福祉協議会 君津市成年後見制度利用促進計画の策定に係る委員 遠坂貴志
- 我孫子市社会福祉課 我孫子市成年後見制度利用促進検討委員会委員 千葉あき枝
- 我孫子市社会福祉協議会 法人後見運営委員会運営委員 片野無事生
- 千葉県教育庁児童生徒安全課 第三者委員会委員 澁澤茂
- 千葉県介護支援専門員協議会 理事・代議員・予備代議員 渡辺哲也、長嶋祐一、齊藤志帆
- 鴨川市社会福祉協議会 安房地域権利擁護推進センター運営委員 川名真啓
- 鴨川市社会福祉協議会 成年後見制度利用促進マッチング会議委員 橋本道子
- 印西市企画政策課 印西市いじめ問題再調査委員会委員 高田俊彦
- 千葉県教育庁児童生徒安全課 第三者委員会委員 赤堀久美子
- 船橋市障害福祉課 船橋市障害者介護給付金等認定審査会委員 佐藤むつみ

【講師派遣・外部講師依頼】

- 2023年3月25日、11月21日 千葉県弁護士会 暮らしとこころの相談会(津田沼)
相談員 樽林元樹、山崎泰介、塩原貴子、間島淳子、樫尾則美
- 2023年4月22日、6月10日 佐倉市社会福祉協議会 市民後見人養成講座
講師 古澤肇
- 2023年5月～2024年2月 松戸市地域包括ケア推進課
地域巡回公演会・相談会(成年後見制度ほか) 古澤肇、四ノ宮章
- 2023年6月9日 佐倉市社会福祉協議会
日常生活自立支援事業生活支援員及び法人後見支援員研修 講師 白井正和
- 2023年7月18日 市川市社会福祉協議会
市川市高齢者サポートセンター 市民後見人養成研修講師 石橋大輔、長尾景子
- 2023年8月 千葉市社会福祉協議会 社会福祉士養成課程相談援助実習生講義
講師 竹嶋信洋
- 2023年10月31日 千葉市成年後見支援センター
市民後見人養成研修 講師 秦野隆治
- 2023年11月16日、11月21日 佐倉市社会福祉協議会 令和5年度介護職員初任者研修
講師 岡本崇広
- 2023年11月18日 市原市社会福祉協議会 令和5年度市原市市民後見人養成講座
講師 古澤肇
- 2023年12月8日 千葉県立松戸南高等学校 特別支援教育研修会
講師 古澤肇
- 2023年12月17日 千葉県社会福祉協議会 千葉県後見支援センター
令和5年度 楽しく学べる！はじめての成年後見講座 講師 古澤肇
- 2024年1月27日 佐倉市社会福祉協議会 千葉ファミリー相談室
四街道市市民後見人養成講座 講師 岡本祥子
- 2024年2月2日 千葉県高齢者福祉課
千葉県高齢者虐待防止対策研修(事業所向け) 講師 谷口さなえ
- 2024年2月4日 社労士成年後見千葉 養成研修修了者向けスキルアップ更新研修
講師 秦野 隆治
- 2024年2月 千葉市地域包括ケア推進課
高齢者虐待に関する(地域包括支援センター向け) 講師 宮間恵美子
- 2024年2月11日 神奈川県社会福祉士会 災害支援活動者養成研修
講師 服部明
- 2024年3月11日 市川市地域包括支援課
スーパービジョン基礎講義(地域包括支援センター職員向け) 講師 矢野明宏
- 2024年2月27日 船橋市役所高齢者福祉部
船橋市権利擁護サポーター養成講座フォローアップ研修 講師 山本誠一
- 2024年3月9日～10日 山武市社会福祉協議会 市民後見人フォローアップ講座
講師 古澤肇、秦野隆治

4. 後援・協賛

- 2023年9月2日 特定非営利活動法人リンク
特別勉強会「どうする!身寄りのない人の支援」 後援
- 2023年10月28日 社会福祉法人 大成会（不二学園）
「第37回自閉症基礎研修」、「第12回事例検討グループワーク」 後援
- 2023年11月5日 千葉県がん患者大集合2023実行委員会
「千葉県がん患者大集合2023」 後援
- 2023年11月12日 千葉県歯科医師会
「ちば県民いい歯とお口の健康ウイーク ～いい歯のイベント2023～」 後援
- 2023年11月14日 千葉県社会福祉協議会 第73回千葉県社会福祉大会 後援
- 2023年12月4日～2024年1月31日（動画配信） 成田市社会福祉協議会
精神障がい者ピア・サポーター養成講座（開催記念講演会） 後援
- 2023年12月17日 訪問介護フォーラム実行委員会事務局
「訪問介護フォーラム2023」 後援
- 2024年2月15日～2024年3月31日（動画配信） 成田市社会福祉協議会
精神障がい者ピア・サポーター養成講座 後援
- 2024年2月18日～2024年3月24日（動画配信） （一社）千葉県作業療法士会
第25回千葉県作業療法士学会 後援
- 2024年2月23日 社会福祉法人 大成会（不二学園）
「第38回自閉症・発達障害基礎研修」 後援

5. その他の活動

【内閣府への参加】

- 「孤独・孤立相談ダイヤル」相談対応
2023年12月15日～2024年1月3日 14人
樽林元樹、伊藤佳世子、服部明、渋谷茂、前田久美子、高木憲司、青木一磨、堀江亜希子、
小林美和、高梨子淳一、佐藤公美子、加藤聡子、鳥海武之、塩原貴子

【千葉県への協力】

- 2023年6月7日、8月7日、11月13日、1月10日、3月19日
千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会（第1回～第5回） 谷口さなえ
- 2023年8月7日 千葉県教育庁児童生徒安全課
令和5年度千葉県いじめ問題対策連絡協議会 山田茜
2023年7月24日、11月1日、3月21日 千葉県健康福祉部健康づくり支援課
令和5年度千葉県地域リハビリテーション協議会（第1回～第3回） 松本友寿
- 2023年9月2日 千葉県防災危機管理部災害対策室 九都県市合同防災訓練（千葉会場）
服部明（マッチング班）
- 2023年11月 千葉県健康福祉部健康福祉指導課 千葉県ホームレス自立支援推進会議
山崎泰介

- 2023年12月18日 千葉県障害者福祉推進課
令和5年度千葉県高次脳機能障害ネットワーク連絡協議会 白井正和

【千葉県社会福祉協議会への協力】

- 2023年 令和5年度第1回理事会(同意書 郵送) 樽林元樹
- 2023年6月6日 令和5年度第2回理事会(オンライン) 樽林元樹
- 2023年6月9日 千葉県介護保険関係団体協議会 令和5年度総会・第1回幹事会
松本友寿
- 2023年8月9日 千葉県後見支援センター
第4回 成年後見制度利用促進 都道府県交流会 古澤肇
- 2023年8月17日 千葉県ボランティア・市民活動センター
令和5年度 千葉県災害ボランティアセンター連絡会 第2回定例会 服部明
- 2023年9月5日~10月19日 後見支援センター 後見制度利用促進地区別意見交換会
9月5日(館山支部)-遠坂貴志、9月13日(市川出張所)-吉武美樹、
9月20日(松戸支部)-古澤肇、9月21日(佐原支部)-根本優子、
9月29日(一宮支部)-遠坂貴志氏、10月10日(佐倉支部)-堀越広喜、
10月11日(千葉家裁本庁)-石橋大輔、10月13日(八日市場支部)-白井正和、
10月19日(木更津支部)-梶原幸夫
- 2023年9月15日 千葉県ボランティア・市民活動センター
災害支援ネットワークちば(CV0AD) 台風13号災害支援関係者 情報共有会議 服部明
- 2023年9月15日 千葉県後見支援センター
成年後見制度利用促進体制整備アドバイザー派遣 大網白里市 白井正和
- 2023年9月27日 千葉県後見支援センター
後見制度利用促進体制整備に係る担当職員勉強会 遠坂貴志
- 2023年10月25日 千葉県後見支援センター
令和5年度成年後見制度利用促進セミナー 古澤肇
- 2023年12月17日 千葉県後見支援センター
令和5年度 楽しく学べる!はじめての成年後見講座 石橋大輔 長尾景子 堀越広喜
- 2023年12月19日 令和5年度第4回理事会(ZOOM出席) 樽林元樹
- 2023年10月24日、12月1日、11月7日 千葉県後見支援センター
成年後見制度利用促進体制整備アドバイザー派遣 遠坂貴志
(10月24日・白子町、12月1日・いすみ市、11月7日・睦沢町)
- 2023年11月24日、12月25日 千葉県後見支援センター
成年後見制度利用促進体制整備アドバイザー派遣
(11月24日、勝浦市)遠坂貴志、(1月15日、茂原市)古澤肇
(2月1日、旭市)白井正和 古澤肇
- 2024年2月28日 千葉県後見支援センター
令和5年度成年後見制度利用促進体制整備のための千葉県域会議
アドバイザー派遣 古澤肇
- 2024年3月18日 千葉県ボランティア・市民活動センター
令和5年度千葉県新地域支援事業推進協議会 第2回幹事会 白井正和

【市町村及び他団体への協力】

- 2023年4月3日 淑徳大学 入学式 白井正和
- 2023年5月27日 千葉司法書士会 令和5年度(第63回)定時総会懇親会 古澤肇
- 2023年6月14日 厚生労働省主催 第2回成年後見制度利用促進都道府県交流会 古澤肇
- 2023年7月31日 市川市福祉部地域包括支援課
市川市成年後見制度等地域連携ネットワーク会議 吉武美樹
- 2023年8月27日 日本社会福祉士会 高齢者・障害者虐待対応に関する事業説明会(ZOOM)
岡本崇広、滑川里美
- 2023年10月29日 習志野市社会福祉協議会 令和5年度 習志野市福祉ふれあいまつり
山本誠一
- 2023年9月16日 千葉県弁護士会 暮らしとこころの相談会(四街道)
相談員 服部明、及川哲
- 2023年11月7日 船橋市地域包括ケア推進課
令和5年度第2回船橋市権利擁護支援等推進協議会 山本誠一
- 2023年11月26日 千葉県精神保健福祉士協会 50周年記念式典 伊藤佳世子
- 2023年12月12日 日本司法支援センター(法テラス) ワンストップ相談会 in 千葉
星崎徹、布施成章、谷口さなえ、田中章友、仲野勢津子、堀江亜希子
- 2023年12月19日 東京社会福祉士会 関東甲信越ブロック県士会災害支援連絡会(ZOOM)
服部明、星野渉、都筑裕子
- 2024年1月28日 東京社会福祉士会
関東甲信越ブロック生涯研修センター協議会(ZOOM) 荻野史啓
- 2024年2月3日 日本社会福祉士会 関東甲信越ブロック連絡協議会
2023年度関東甲信越ブロック連絡協議会 樽林元樹、白井正和
- 2024年2月16日 千葉家庭裁判所 家事関係機関との連絡協議会 古澤肇
- 2024年2月24日 東京社会福祉士会 2023年度関東甲信越ブロックぱあとなあ連絡会
古澤肇、堀越広喜

6. 各委員会・部会

(1) 総務委員会

①企画部会

- 企画部会・世話人合同会議

(第1回) 日時：7月8日(土) 19:00~20:30 参加者：11名

① 報告事項

- ・千葉県社会福祉士会の重点目標
- ・企画部会の目標：地域集会の再開、未開再築のテコ入れ、新入会員との交流
- ・地域集会 世話人以外の開催承認、支援の依頼

② 協議事項

今年企画したい地域集会、新入会員が参画しやすくなる企画

(第2回) 日時：3月7日(月) 19:00~20:00 参加者；5名

① 報告事項

各地域集会取組について

② 協議事項

令和6年5月の「孤独・孤立対策強化月間」取組み登録について

ア 地域集会

2021年度に地域集会開催要綱を改訂し、世話人以外の会員が、自主的な企画を地域集会として企画し開催、会員への周知、費用の補助等を活用できることとしたことにより、7回、他団体と共催により開催された。大規模な参加者を抱える団体との連携により前年度の倍以上参加者数となった。

会報誌「点と線」やホームページで、世話人以外からの地域集会企画をPRし、世話人が未設置の地域からも有志による新たに地域集会開催に至った。

<地域集会開催内容> 延べ16回 691名(前年度延14回 243名)

	地域	内容	開催場所・形式	参加人数
4月8日(土) 10:00~12:00	千葉市花見川区・習志野市・八千代市地区+船橋市・鎌ヶ谷市地区合同地域集会	個別避難計画作成を通じて地域社会の状況とソーシャルワークのかかわりを考える	オンライン	7名
5月17日(水) 19:00~21:00	第95回福祉道場(柏・我孫子・野田・流山地域集会)	インタビューする側される側でトーク力を鍛える	柏市社会福祉協議会いきいきプラザ	15名
7月19日(水) 19:00~21:00	第96回福祉道場(柏・我孫子・野田・流山地域集会)	参加者の近況報告によるネットワークの再構築	くすお	15名
8月20日(日) 13:30~16:30	拡大地域集会 〔浦安・市川子ども・若者アドボカシー推進プロジェクト共催〕	「こどものために」から「こどもとともに」歩む地域社会へ	浦安市民プラザ	92名
9月2日(土) 13:30~16:30	千葉市地域集会 〔NPO法人リンク共催〕	どうする?!身寄りのない人の支援	千葉県社会福祉センター2階 研修室A	150名
9月20日(水) 19:00~21:00	第97回福祉道場(柏・我孫子・野田・流山地域集会)	意見交換会「不自由な福祉」って感じたことないですか?	オンライン	10名
9月23日(土) 13:00~16:00	君津圏域地域集会 〔中核地域生活支援センター君津ふくしネット共催〕	現場とちいきづくりに活きる「新時代へ」	木更津市金田地域交流センター	80名

10月8日(日) 14:00~17:00	印旛地域合同地域集会 (佐倉・八街・四街道地区 +印西・白井・富里・成田・ 栄・酒々井地区)	重層的支援体制整備事業 について～重層的支援体 制整備事業における社会 福祉士の役割とは?～	公津の杜コミュニ ティセンター もりんぴあこうづ	47名
12月1日(金) 18:30~20:30	市原地区地域集会	施設見学	社会福祉法人みら い工房つむぎ	22名
11月15日(水) 19:00~21:00	第98回福祉道場(柏・我 孫子・野田・流山地域集 会)	相談援助職が災害時に備 え、知っておくべきこと	柏市社会福祉協議 会いきいきプラザ	9名
12月23日(土) 9:50~17:00	4地区合同地域集会(千葉 市緑区・若葉区・中央区+ 千葉市稲毛区・美浜区+ 千葉市花見川区+習志野 市・八千代市+船橋市・鎌 ヶ谷市) (CHIBASHI こども若者未 来会議実行委員会共催)	基調講演「超人口減少時代 の全世代型社会保障」	千葉県立保健医療 大学幕張キャンパ ス	100名
1月17日(水) 19:00~21:00	第九十九回『福祉道場 (柏・我孫子・野田・流山 地域集会)	子どもの福祉のこと、一緒 に考えませんか?	オンライン	12名
1月20日(土)14: 00~17:00	印旛地域合同 (佐倉・八街・四街道地区 +印西・白井・富里・成田・ 栄・酒々井地区) (精神保健福祉士協会共 催)	「山武がつながる劇団」の ミニ動画をもとにした事 例検討～複合的な課題を 抱えた要介護高齢者世帯 への関わり方～	成田市勤労会館 大会議室	30名
1月27日(土) 10:00~12:00	千葉市地域集会 千葉市中央区地域活性化 事業「中央区妊娠や出産 時から高齢期までの支援 を考える会」共催	全世代包括的に垣根なく 支援する地域を目指して ～母子支援からみえるこ と～をテーマに講演会と パネルディスカッション	千葉市文化センタ ー	47名
2月11日(土) 13:30~17:00	中央ブロック(千葉市、市 原市、茂原市、いすみ市、 夷隅郡(大多喜町、御宿 町)、勝浦市、長生郡(一 宮町、白子町、長生村、長 南町長柄町、睦沢町)) (一般社団法人千葉県精 神保健福祉士協会共催)	事例を通じた分野・地域を 超えた意見交換会 ① 災害時高額の請求を受 けた方を法律家と連携し て支援したケース② 精神 疾患を抱えている母子に 対して危機介入したケー ス③ 地域移行が進む中で 地域との折り合いがあわ ないグループホームとの	千葉県社会福祉セ ンター	33名

		接点をいかに作るか		
3月20日(水) 19:00~21:00	第100回福祉道場(柏・我孫子・野田・流山)	参加者の近況報告による ネットワークの再構築	くすお	22名

イ 組織強化のための他の職能団体との協働研究

● 千葉県ソーシャルワーカー三団体連絡協議会

千葉県医療ソーシャルワーカー協会、千葉県精神保健福祉士協会と協議を行い、研修を実施。

『地域で生きる』を支援する～かかわり・つながり・協働する～外国人支援の基礎知識

開催日：2月18日(日) 13時半~17時

場所：館山病院+オンライン

参加者：42名

内容：(1)活動発表 ①安房地域高齢分野 ②安房地域医療分野 ③安房地域 障害分野
④東葛地域 地域福祉・地域包括支援C分野

(2)意見交換 (3)施設見学

● 福祉と司法の千葉県連絡協議会

2017年千葉県弁護士会の呼びかけで誕生した。千葉県医療ソーシャルワーカー協会、千葉県精神保健福祉士協会、千葉県公認心理師協会を加えた5団体。外国人の生きる権利を考える裁判の報告を共有し、外国人の生きる権利を考える会立ち上げに参画。

● 「暮らしとこころの相談会」相談員派遣

開催日：9月16日(土) 13:00~16:00

場所：四街道市総合福祉センター

派遣相談員：服部明、及川哲

開催日：3月23日(土) 13:00~16:00 自殺対策強化月間全国一斉開催

場所：茂原市東部台文化会館

派遣相談員：工藤健、福井真一、渋沢茂

②広報部会

ア 機関紙「点と線」発行 2023年度 年3回発行

zoomを活用したインタビュー方式を新たに取り入れ、対談形式での記事づくりに新たに取り組みました。また、表紙に掲載広告を導入し、会の収入確保に取り組みました。

(実績：広告掲載6回(2社) 11,000円×6=66,000円)

● 第112号

《特集》「つながりを創る 社会福祉士会で自分を活かそう」では、当会会長を含む5名の方からお話を伺っています

また、各委員会の紹介も掲載しています

- ・ コラム スーパービジョン体験談
- ・ 私が学んだ対人援助
- ・ 地域集会
- ・ ストレートネックマン
- ・ 社会福祉士の輪
- ・ 事務局便り 2023年7月 12頁 2,500部発行

配布 会員数 1,641名(発送 1,105件、メール配信 536件)、関係団体 928件

● 第113号

《特集》 「こどものためのソーシャルワーク」

- ・ 社会福祉士のわ
- ・ ストレートネックマンの部屋
- ・ 基礎研修Ⅰ 参加報告
- ・ 被災地支援活動協力員名簿登録
- ・ 認定社会福祉士の声
- ・ 地域集会
- ・ 事務局便り 2023年11月 12頁 2,500部発行

配布 会員数 1,641名(発送 1,105件、メール配信 536件)、関係団体 928件

● 第114号

《特集》 他分野を他人ごとにしな

- ・ 子ども若者支援アンケート結果報告
- ・ 社会福祉士のわ
- ・ 認定社会福祉士の「こえ」
- ・ コラム～千葉刑務所の福祉専門官
- ・ ストレートネックマンの部屋
- ・ 事務局便り

2024年3月 12頁 2,500部発行

配布 会員数 1,636名(発送 1,096件、メール配信 540件)、関係団体 926件

※ 配布先の関係団体

相談機関窓口や地域包括支援センター、市町村社会福祉協議会、社会福祉士養成校等

イ ホームページの維持・管理

● 研修、求人などの情報提供

イベント掲載 144件、本会主催の研修 53件

求人情報 91件

ウ 広報部会の開催

編集会議、編集作業、発送作業（各年3回）

※発送作業は障がい者就労支援事業所に委託した。

(2) 総合相談委員会

今年度も高齢者虐待防止対策研修および高齢者虐待対応現任者標準研修事業（受託事業）を千葉県から委託を受け開催。昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染予防のためオンライン開催とした。来年度は一部対面も取り入れ、オンライン含めハイブリッド開催を計画している。

①高齢者虐待防止事業

ア 高齢者虐待防止対策研修および高齢者虐待対応現任者標準研修事業（受託事業）

- 管理職、初任者向け

開催日：2023年8月31日(月) PC接続台数 141台

開催方法：ZOOM オンライン研修

- 現任者向け（市町村・地域包括職員向け）

開催日：2023年11月5日(月) PC接続台数 109台

2023年12月6日(火) PC接続台数 107台

2023年12月14日(月) PC接続台数 107台

開催方法：ZOOM オンライン研修

- 専門研修（市町村・地域包括職員向け）

開催日：2024年2月8日(火) PC接続台数 170台

開催方法：ZOOM オンライン研修

イ 高齢者虐待対応専門職チームへの参加（受託事業）

- ・ チームメンバー派遣回数 4回

②相談事業

習志野市福祉まつり 社会福祉士会 PR 活動と福祉相談ブース

開催日：2023年10月29日（日） 習志野市役所

③ソーシャルワーカーカフェ

新たな取り組みとして、社会福祉士が実践している現場を見学し意見交換することで、新たな視野と社会福祉士同士の繋がり構築を目的に開催した。

開催日：2023年10月20日

場所：(株) ベストサポート

参加者：6名 松本理事 山口理事

(3) 研修委員会

感染緩和に伴い、基礎研修Ⅰはすべて集合研修に切り替えたが、基礎研修ⅡⅢについては、オンライン研修とeラーニング及び集合研修を兼ねた研修を実施した。社会福祉士実習指導者研修は、引き続き感染対策の徹底をし、集合型研修にて開催、社会福祉士国家試験対策講座は新たな試みとしてYouTube動画撮影を行った。

① 委員会・部会会議

○2023年5月10日19：00～20：30リーダー会議（zoom会議）

出席者：浅見雅人、白井正和、堀江亜希子、矢戸孝紀、竹村葉子

- ・新基礎研修Ⅲリーダー 挨拶

- ・基礎研修ⅠⅡⅢ 受講者数について

・委員会内の情報共有

○2023年6月21日19：00～21：50リーダー会議（zoom会議）

出席者：浅見雅人 堀江亜希子、矢戸孝紀、近藤涼子、福間勝可 白井正和

・2023年度の受講料について

・事務局との連携について

○2023年8月23日19：00～21：50リーダー会議（zoom会議）

出席者：浅見雅人 堀江亜希子、矢戸孝紀、近藤涼子、福間勝可

・2023年度 基礎研修 日程予定

・日本社会福祉士会主催 各研修養成講座参加報告

・2024年度の今後の研修企画について

○2023年10月24日19：00～21：30リーダー会議（zoom会議）

出席者：浅見雅人 堀江亜希子、矢戸孝紀、近藤涼子

・基礎研修 I II IIIの現状報告

・和洋女子大学受験対策について

・実習指導者養成講座の日程調整

新たな研修企画の具体的な検討について

○2023年12月7日19：00～21：00リーダー会議（zoom会議）

出席者：浅見雅人 堀江亜希子、矢戸孝紀、近藤涼子、竹村葉子

・基礎研修 I II IIIの現状報告

・実習指導者講習会実施報告

・研修委員会 2024年度 予算内容について

○2024年1月25日18：30～20：30リーダー会議（zoom会議）

出席者：堀江亜希子、矢戸孝紀、竹村葉子 近藤涼子、浅見雅人 萩野史啓

・基礎研修 I II III 現状報告

・国家試験支援チームの編成について

・和洋女子大学受験対策講座について

・社会福祉士受験対策コメント作成担当者調整

○2024年2月13日 18：30～20：30リーダー会議（zoom会議）

出席者：堀江亜希子、矢戸孝紀、竹村葉子 近藤涼子、浅見雅人 萩野史啓

・基礎研修 I II III 現状報告

・淑徳大学との実習指導フォローアップ合同研修の検討について

・再作成の予算について

・新委員の加入について

○2024年3月21日 18：30～20：30リーダー会議（zoom会議）

出席者：堀江亜希子、矢戸孝紀、竹村葉子 近藤涼子、浅見雅人 萩野史啓

- ・基礎研修ⅠⅡⅢ 現状報告
- ・国家試験解答解説の作成担当の調整について
- ・全体会議の日程調整について

2023年7月22日 19：00～20：00 全体会議（ZOOM会議）

出席者：浅見雅人、白井正和、竹村葉子、矢戸孝紀、助川純子、三瓶雅俊、萩野史啓、
塩原貴子、吉田志保、近藤涼子、古川由布子、佐藤滋洋、小西礼子、小野寺浩、
石山明子、俵はるみ、福間勝可、立川大輔、佐藤裕幸、堀江亜希子、

- ・研修員会の目的及び構成
- ・基礎研修Ⅰ～Ⅲの申し込み状況
- ・新たな企画について

2024年3月31日（木）9：00～21：00 全体会議（集合型会議）

場所：千葉県社会福祉センター3階会議室

出席者：浅見雅人、堀江亜希子、矢戸孝紀、石山明子、小野寺浩、佐藤滋洋、
三瓶雅俊、塩原貴子、助川純子、田井忍、俵はるみ、仲野勢津子、
日野口育美、吉田志保、吉田光成、近藤涼子

- ・2024年度の委員会の予算及び事業計画を発表
- ・基礎研修ⅠⅡⅢ スタッフ、ファシリテーター募集について
- ・グループワーク 「こんなことなら私できるかも！やってみたい！こんな研修！」

2023年9月21日 15：00～16：00（集合型会議）

場所：ジェイシー教育研究所 相談室

出席者：ジェイシー教育研究所：堀洋一

千葉県社会福祉士会：浅見雅人、福間勝可、宮本哲男

- ・現在の赤まる福祉（受験対策ソフト）の現状報告
- ・千葉県社会福祉士会の現状報告
- ・模擬試験等の作成費用のアップについて

2023年10月11日 19：00～20：30 基礎研修Ⅲ運営会議（zoom会議）

参加者：田尻真人、近藤涼子、竹村葉子、浅見雅人

- ・基礎研修Ⅲの研修の質向上について

2023年7月25日 19：00～20：15 和洋女子大学講師派遣受験対策会議

（大学側のオンライン機器使用）

大学側：板倉香子先生 二宮裕子先生 高木憲司先生

千葉県社会福祉士会：吉田志保 宮本哲男 浅見雅人

- ・2022年の傾向について

- ・和洋女子大学内での受験対策について
- ・2023年度のやり方について

2023年9月6日 19:00~20:15 和洋女子講師担当者会議 (zoom会議)

出席者：浅見雅人、石山明子、吉田志保、宮本哲男、市原久夫、岡本崇広 塩原貴子
相澤雅則、矢野明宏、福間勝可

- ・和洋女子大学への現地までの案内と緊急対応について
和洋女子大学の協議した報告と各講師内容の統一化

②会議の役割分担について

2024年度の新たな研修企画及び現存する研修の質向上を図るため、リーダー会議と全体会議に絞って対応しているが、2024年度は、基礎研修ⅠⅡⅢを主体にした会議を加え、より運営面での効率化を図っていく。

③その他、受託事業について

淑徳大学への講師派遣事業は社会福祉士のカリキュラム変更より2023年度で終了となる。和洋女子大学社会福祉士受験対策講座は大学の経営的な理由により2023年度で終了となる。日本社会福祉士会の受託事業として地域共生社会の実現及び倫理綱領研修では2024年度開催に向けて準備を進めている。

④ 研究大会 県民公開講演

2023年度は、対象講演がない為、中止とした

⑤ 主な研修事業

基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ等

●基礎研修Ⅰ (一部eラーニング受講及びZOOMにて実施)

第1回：2023年9月2日(土) 9:30~17:00

講師：各委員会委員長、堀江亜希子 受講者59名

第2回：2024年2月4日(日) 9:30~17:00

講師：堀江亜希子 受講者52名

●基礎研修Ⅱ (ZOOMオンライン研修、☆目印：集合研修にて実施)

第1回：2023年6月11日(日) 9:30~17:00 講師：小野寺浩 受講者37名

第2回：2023年7月16日(日) 9:30~17:00 講師：小野寺浩 矢戸孝紀 受講者38名

第3回：2023年8月20日(日) 9:30~17:00☆ 講師：小野寺浩 受講者36名

第4回：2023年9月24日(日) 9:30~17:00 講師：矢戸孝紀 受講者36名

第5回：2023年10月8日(日) 9:30~17:00☆ 講師：矢戸孝紀 受講者37名

第6回：2023年11月12日(日) 9:30~17:00 講師：石山明子 受講者36名

第7回：2023年12月3日(日) 9:30~17:00 講師：石山明子 受講者37名

第 8 回：2023年 1 月14日（日）9:30～17:00 講師：石山明子 受講者37名
 第 9 回：2024年 2 月18日（日）9:30～17:00 講師：矢戸孝紀 受講者37名
 第10回：2024年 3 月17日（日）9:30～17:00☆ 講師：石山明子 受講者36名

●基礎研修Ⅲ（ZOOMオンライン研修、☆目印：集合研修にて実施）

第 1 回：2023年 6月10日（土）9:30～17:00 講師：浅見雅人 受講者41名
 第 2 回：2023年 7月15日（土）9:30～17:00 講師：浅見雅人 受講者43名
 第 3 回：2023年 8月19日（土）9:30～17:00 講師：竹村葉子 受講者43名
 第 4 回：2023年 9月23日（土）9:30～17:00 講師：宮本哲男 受講者44名
 第 5 回：2023年 10月7日（土）9:30～17:00 講師：宮本哲男 受講者43名
 第 6 回：2023年 12月2日（土）9:30～17:00 講師：俵はるみ 受講者42名
 第 7 回：2024年 1月13日（土）9:30～17:00☆ 講師：俵はるみ 受講者42名
 第 8 回：2024年 2月17日（土）9:30～17:15☆ 講師：浅見雅人 受講者43名

※基礎Ⅰ～Ⅲ いずれも、第1回開講前に接続テストを行い、受講生の受講環境の確認等を実施

●社会福祉士実習指導者養成研修

2023年11月25日（土）、2023年11月26日（日）

開催場所：千葉県社会福祉研修センター2階会議室

講師：田尻真人、白井正和、神山裕也

受講者（修了者）：36名

●和洋女子大学での授業（全19科目）

2023年10月17日（火）～2023年12月26日（火）

講師名（担当科目）

相澤雅則（保健医療サービス、人体の構造及び疾病）

吉田志保（障害者に対する支援と障害者自立支援制度、就労支援サービス）

鈴木正人（低所得者に対する支援と生活保護制度）

福間勝可（社会調査の基礎、現代社会と福祉、心理学理論と心理的支援）

赤堀久里子（相談援助の理論と方法）

岡本崇広（児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、社会理論と社会システム）

浅見雅人（福祉行財政と福祉計画、社会保障、直前対策講義）

矢野明宏（福祉サービスの組織と経営、地域福祉の理論と方法）

市原久夫（権利擁護と成年後見制度）

塩原貴子（高齢者に対する支援と介護保険制度）

石山明子（更生保護制度、相談援助の基盤と専門職）

【ジェイシー教育研究所Web模試問題作成】

●2023年度 ジェイシー国家試験受験対策

- ・2023年8月 模擬試験問題 19科目・150問納品
- ・2024年2月 国家試験解答分析（速報コメント作成）
- ・2024年3月 国家試験解答解説 19科目・150問納品

【養成・教育機関との連携事業】

●淑徳大学への講師派遣

- ・科目名 : 卒後教育と人間開発 I (前期/後期)
- ・開催場所: 淑徳大学
- ・連携団体: 千葉県精神保健福祉士協会、千葉県医療ソーシャルワーカー協会、
千葉県弁護士会 社会福祉委員会

1) 授業目的

本講座は、社会福祉実践教育（専門）の「総仕上げ」として位置づけ、柔軟な思考力や行動力を養うことを目的とする。授業では、千葉県社会福祉士会等職能団体、千葉県弁護士会社会福祉委員会所属の有志弁護士、マスコミ等の協力を得て実施する。

2) 授業内容

テーマは、以下の二つである。

一つ目のテーマ（前期）は「ソーシャルワークの実際」を各方面から理解、体験することである。事例を用いて、現場のソーシャルワーク実践や関連する領域について概説する。

二つ目のテーマ（後期）は「実践とソーシャルワーカー」について考えることである。多職種連携が必須の現代にあって、関係機関、専門職、行政、さらには住民・住民組織との協働も展開される時代において、講義や事例検討を通してソーシャルワーカーとしての立脚点等を学ぶ。

前期後期ともに、学外講師による講義や事例演習と本学教員によるふりかえりを繰り返して展開される。

3) 到達目標

特定領域に特化せず、ジェネラリストソーシャルワーカーとしての視点、知識、技術、姿勢の醸成。前学期、後学期を通じた、演習等による支援のソーシャルワーク実践力、支援のネットワークづくり形成力、コーディネート力等基礎の醸成。

4) 講師

宮間恵美子、田尻隆、鈴木将人、松本拓馬、平野香

⑥ 日本社会福祉士会主催委員会及び各種研修への委員派遣について

●2023年度 第1回 全国生涯研修委員会会議（ZOOM）

2023年5月14日（日）13：00～16：20

テーマ：オンライン研修の先事例発表、オンライン研修の課題

出席者：浅見雅人

●2023年度 第2回 全国生涯研修委員会 会議（ZOOM）

2023年9月23日（土）11：00～16：30

出席者：福間勝可

テーマ： グループスーパービジョンに関する調査結果

受講者への個別対応、若年層にむけた研修

●2023年度 生涯研修センター 関東甲信越ブロック会議

2024年1月28日（日）10：00～12：10 会議（zoom）

出席者 萩野史啓

基礎研修に対する意見交換

●2023年度基礎研修講師養成研修

2024年2月10日（土）、2024年2月11日（日）開催（ZOOM）

日本社会福祉士会主催 令和5年度基礎研修講師養成研修 2名推薦

推薦者：藤田理恵子、俵はるみ

（4）権利擁護センターぱあとなあ千葉運営委員会

2023年度、ぱあとなあ千葉の事業報告として、後見人等の受任件数 2107 件、登録員 341 名となった。家裁からの依頼が 520 件となり、全体で過去最高の状況であり、登録員、運営委員、事務局ともに、多忙であり、協力しあい、乗り切った年度とも言える。この依頼数の増加傾向は、今後も同等に続く予測があり、運営規程、名簿登録規程をはじめ、体制整備を進めていく必要がある。

国の第2期成年後見制度利用促進計画では、地域共生社会を目指した、権利擁護支援の一つとして成年後見制度の考え方が示された。また、各自治体では、地域の実情にあわせた動きがあった。ぱあとなあ千葉の社会的使命、必要とされる職能団体としての役割、責任がある。「意思決定支援」「チームケア（権利擁護支援チーム）」「地域連携ネットワーク」「中核機関の役割、機能」「適切な選任と交代」「苦情受付体制」が、だいたいのキーワードとなっている。

ここ数年、ぱあとなあ千葉や会の事務局に、本人や関係者からの問い合わせ、要望、苦情が増加している。中核機関の設置が進み、チームケアが推奨されている。補助や保佐のケースの増加、又、いわゆる支援困難ケース、課題が複合化しているケースの依頼が多くなってきた。

また、登録員の高齢化や病気、認知機能の低下、多数受任の課題、兼業での連絡体制の問題等がある。

定期報告等の提出期限が守れない登録員、必須研修に不参加の登録員が一定数いる。その都度、運営委員、委員長、副委員長を中心に、事実確認、個別面談等で助言、指導の対応を行った。

必須登録員の研修では、倫理綱領と行動規範、チームケアの研修を実施し、ご自身の後見活動の振り返りをしつつ、注意喚起、原点回帰の機会にも繋がった。

運営委員会、理事会では、名簿登録規程の改正、役員報酬（委員長、副委員長）の設立について、議論を繰り返し、2024年度からの改正、導入を目指している。

後見事務においては、活動報告書システムを導入し2年目となり、一定の評価はあるが、システムの課題もある。引き続き、事務局（ぱあとなあ担当の週5事務員の定着）や運営委員の業務負担軽減、登録員の効率化を踏まえて、体制整備、ICT化を推進していく。新年度からは、ぱあとなあ新ホームページ（マイページ）を活用し、受任状況確認、研修申し込み等をよりスムーズに行えるようにする。

2023年度の事業概況

登録員数、家裁からの後見人等推薦依頼件数、総受任件数は昨年より約52件増加、総受任件数は、185件増加している。運営委員会及び県社士会事務局の業務量（コーディネート、研修、業務管理業務及び付随する事務作業等）は、年間を通じて逼迫している状況。

年 度	登 録 員	家裁からの推薦依頼件数	総受任件数
2016	225	201	937
2019	263	426	1402
2020	302	416	1574
2021	320	522	1837
2022	324	468	1922
2023	341	520	2107

1. 運営委員会事業

第1回（2023年4月）～第8回（2024年3月）の運営委員会は、オンライン7回、参集1回の開催。主な議事・確認事項は以下の通り。

- ・2022年度事業報告、2023年度事業計画
- ・登録員の研修受講要件
- ・報酬助成審査会 報酬助成申請案件の可否審議
- ・活動報告システムの運用
- ・ぱあとなあニュース、未成年後見、独立型社会福祉士、渉外、会計
- ・家裁との協議、各自治体の中核機関
- ・登録員の相談、苦情について
- ・名簿登録規程、運営規程改正に協議 役員報酬について協議
- ・登録員の面談について

2. 研修事業

- ・「必須登録員研修」 登録員は必須の研修、年1回以上の研修参加が名簿登録の要件
→実施3回（ZOOM開催2回、参集開催1回） 延 354名（不参加38名）
- 1回目 2023年7月29日 倫理綱領と行動規範 リーガルサポート千葉 吉留亨氏 218名
- 2回目 2023年10月22日 倫理綱領と行動規範 日本社会福祉士会 中田雅章氏 48名

3回目 2024年1月27日 チームケア 流山中核機関 桃井氏 柏南部地域包括 宮原氏 88名

※ 38名不参加 ⇒不参加者は、レポート提出(14名)

2023年度から、欠席は原則認めず、やむを得ない場合は、理由を添える。

・「千葉サポート研修」→受任3年未満の方が対象、年間2回以上の研修参加が名簿登録の要件
実施6回(ZOOM開催) 延 282名 平均 約 47名

第1回 5月13日 初回報告 助川純子 43名

第2回 6月24日 身上保護 吉武美樹 46名

第3回 8月26日 居住用不動産 土井義昭 55名

第4回 10月28日 死後事務 高美修次 64名

第5回 11月25日 リスクマネジメント 秦野隆治 34名

第6回 2月24日 家裁、報酬助成 四ノ宮章 40名

・「レベルアップ研修」→実施2回(オンラインZOOM開催)

第1回 10月21日 障がい福祉サービスから介護保険 伊藤佳世子 堀江亜希子 31名

第2回 12月2日 親なきあとの支援 泉幸江 安藤宏之 太田和美 33名

・「弁護士との事例検討会」→実施2回(ZOOM開催)

第1回 11月18日 中山真樹弁護士 27名

第2回 2月17日 佐久間貴幸弁護士 19名

・「人材育成研修」→開催(参集開催) 36名(内、茨城県5名)

・「名簿登録研修」→開催(参集開催) 28名

・「支援者のための成年後見制度活用講座」(参集開催)→ 9月23日・24日 26名

3. コーディネート事業

2023年度(2023年4月1日~2023年3月31日)における家庭裁判所からの後見人等の推薦依頼件数は520件で、前年度の468件から約50件増加した。しかし、受任候補者を推薦出来ず、辞退した案件は71件で、前年度の19件を大きく上回った。

結果として、2022年度は、辞退案件と申立取下等のキャンセル案件2件を除いた、447件を登録員の皆さんが新たに受任。(前年度441件)。

コロナ禍以降、コーディネート作業は、クラウドシステムを活用し、10人の担当者がそれぞれの担当地区(家裁支部)の依頼案件に応じて、推薦候補者を選定し、順次候補者へ電話での案件説明、受任打診等を行なっている。コーディネーターの負担も大きく、原則として、任期は1年。負担軽減のためのICT化等を更に進め、今後、より多くの登録員にコーディネーターを担っていただくことが不可欠である。今後、一定の後見人等の受任経験を有する登録員、過去にコーディネーターを経験者にお声がけさせていただくことがある。

また、2023年度の電話相談対応は、138件(一般58件、登録員80件)(前年度146件)。

経験の浅い登録員の方は、是非、活用いただきたいと考えている。

表1 家裁支部別依頼件数（2023年4月～2024年3月末）

全体	本庁	松戸	市川	佐倉	木更津	佐原	八日市場	一宮	館山
520 (468)	141 (111)	130 (111)	111 (116)	56 (66)	25 (26)	17 (16)	17 (4)	13 (14)	10 (4)

※ 辞退 71 件（2023 年度 19 件）、キャンセル 2 件（2023 年度 8 件）。（ ）内は 2022 年度。

表2 依頼案件の類型（2023年4月～2024年3月末）

全体	後見	保佐	補助
520 (468)	377 [72%] (311 [66%])	102 [20%] (112 [24%])	41 [8%] (46 [9%])

※ （ ）内は 2022 年度。

4. 業務管理（活動報告書の読込、受任者面談）事業

登録員の皆さま、活動報告書(定期報告)を活動報告システムでの提出、部会員・協力員 10 名が、報告書の読込作業を行った。2023 年度の活動報告書総数は、2107 件（昨年比+168 件）で、2024 年 3 月～4 月にかけて読込を実施。340 名中 14 名の方を除き、期日（2 月 1 日～2 月 28 日）を守り、提出となった。

2023 年度の読込作業を通して、4 月に 10 名の面談（内 7 名ケース相談等により面談希望）を予定。2022 年度は、13 件、10 名の個別面談を実施した。

活動報告システムでの報告時は、①3 桁でのケース番号②家裁の事件番号③家裁への報告年月日④1-3 の身上保護、財産管理、意思決定支援の取り組みの 3 項目別の記載⑤現在の活動件数の違い、この辺りの修正のための差し戻しがあった。システム側の問題や課題も多くあり、改善するよう日本会、システム管理会社へ要望を伝えていく。後見活動で、困っていること等、ぱあとなあ千葉の電話相談・面談相談の活用を周知している。

～随時報告提出にあたっての留意点～

2024 年 1 月～2 月にかけて、随時報告提出が通常の間（約 30 件程度）よりも 3 倍近い件数（約 100 件）が提出。その結果、定期報告の件数や内容の誤入力等、要修正事案が多数散見され、提出された登録員の皆様・事務局員・読込担当者各々に多大な事務負担が生じるに至った。

来年度以降、このような課題が生じないように、随時報告の提出時期（家裁への報告後速やかにぱあとなあ千葉へ提出）及び留意点について今一度ご確認をお願いし、注意喚起をしている。

5. 報酬助成制度事業

被後見人等の方の預金が過少であることや、市町村の報酬助成を受けることができないことにより、後見報酬の確保が困難な案件に対して、ぱあとなあ千葉から報酬を助成する制度。

- ・報酬助成金額の上限：1 案件について、1 年あたり 150,000 円（月額 12,500 円）。
- ・受任案件数においての受任会費の上限(1 件につき 2,000 円、上限 15 件 30,000 円)を廃止。

2024年度からは、15件以上(新規、低報酬案件除く)の受任の方は、受任会費1件2000円に上限なし。仮に受任20件では、受任会費は、40,000円となる。

また、この受任会費は、報酬助成、それに伴う事務費以外のばあとなあの活動(コーディネートや業務管理等)でも、支出できる。今後、更なる事務員増員も検討中である。各市町村の成年後見制度利用支援事業(後見報酬助成制度)は、少しずつ見直しがされているが今後も必要なソーシャルアクションを行っていく。

申請件数

2022年度申請 14件申請

2023年度申請 9件申請

助成件数と助成額

2022年度 7件 780,000円

(※2022年4月～12月分 尚、2023年1～3月分は、2024年度へ)

2023年度 13件 1,820,000円

受任会費

受任会費は、2,340,000円(受任1件×2,000円)

[審査会実績及び申請件数]

2022年度第3回	報酬助成審査会	2023年1月24日	2022年度申請分	6件申請
2023年度第1回	報酬助成審査会	2023年4月25日	2022年度申請分	2件申請
2023年度申請分	4件申請			
2023年度第2回	報酬助成審査会	2023年10月19日	2023年度申請分	1件申請
2023年度第3回	報酬助成審査会	2024年1月11日	2023年度申請分	2件申請

※2024年2、3月 3件の申請は、2024年度第1回報酬助成審査会で審査。

[助成額 上記審査会期間分]

2023年度 助成金額 1,820,000円 13件 (※2022年度 助成金額780,000円 7件)

内訳：2022年度申請分 7件 1,020,000円

2023年度申請分 6件 800,000円

2023年度 助成金額 1,020,000円+800,000円=1,820,000円

※2024年度は、4月、9月、1月と年間3回設定し、早期の支給に努める。

6. 渉外・ソーシャルアクション

・家事関係機関との連絡協議会(家裁主催) 2024年2月16日 古澤肇

・地区別意見交換会(県社会福祉協議会主催)

白井正和・根本優子・遠坂貴志・堀越広喜・吉武美樹・梶原幸夫・石橋大輔・古澤肇

・成年後見制度利用促進体制整備アドバイザー派遣（県社会福祉協議会主催）

9月15日 大網白里市、9月27日 一宮町、10月24日 白子町、
11月7日 睦沢町、長柄町、長南町、12月1日 いすみ市、12月18日 勝浦市、
1月15日 茂原市、2月1日 旭市 遠坂貴志 白井正和 古澤肇

- ・成年後見制度利用促進体制整備のための圏域会議（県社協） 2月28日 古澤肇
- ・千葉県成年後見支援センター関係機関連絡会議（県社協） 2月28日 古澤肇
- ・佐倉市市民後見人養成講座 講師 古澤肇 4月22日、6月10日
- ・佐倉市日常生活自立支援事業、法人後見研修 講師 白井正和 6月26日
- ・柏市中核機関 勉強会 講師 四ノ宮 太田 古澤 10月5日
- ・流山市専門職対象成年後見制度研修会 講師 古澤肇 10月16日
- ・千葉市市民後見人養成講座 講師 秦野隆治 10月31日
- ・市原市市民後見人養成講座 講師 古澤肇 11月18日
- ・浦安市市民後見人フォローアップ講座 講師 古澤肇 1月20日
- ・社労士成年後見支援センター 講師 秦野隆治 2月4日
- ・船橋市権利擁護サポーター養成講座フォローアップ講座 講師 山本誠一 2月27日
- ・柏市南部、南部第二地域包括支援センター 講師 工藤淑子 古澤肇 2月29日
- ・山武市市民後見人フォローアップ講座 講師 秦野隆治 古澤肇 3月9日 10日
- ・松戸市地域巡回講演会・相談会 講師 泉幸江 四ノ宮章 古澤肇 年10回

・県内各自治体における成年後見制度利用促進計画の策定、中核機関の設置等が進む中、ぽあとなあ千葉として、引き続き積極的に関わり、委員やアドバイザー、講師を引き受けてきた。成年後見制度利用支援事業の整備・拡充を各自治体へ働きかけを継続していく。

7. 登録員に対する苦情対応

登録員の後見活動に関する関係者からの要望・相談・苦情等がここ数年増加。登録員の後見活動における問い合わせや要望、苦情が市町村、中核機関、サービス事業所、本人や家族から連絡が常時数件ある状況である。「登録員が関係者と連絡が取れる体制」「チームケア、方針のすり合わせ、役割分担」「上から目線にならない注意」「報告書の提出期限の厳守」等について、ぽあとなあニュースや研修時に注意喚起を実施した。

新しい倫理綱領の考え方では、家族や関係者もクライアントの定義となっていることも再確認している。

当該登録員の活動改善のための個別面談、指導・助言を実施。今後は、ぽあとなあ名簿登録規程の改正し、助言や指導に従えない場合が続く場合は、対応についても明示していく。

登録員には、本人、家族、関係機関との連絡調整、チームケアの中で、課題や問題が発生した際には、早めにぽあとなあに連絡、相談するよう、又、登録員の高齢化や病気等による辞任の相談についても事前にぽあとなあ千葉へ相談をするよう周知している。

8. その他

- 未成年後見の受任中の案件は、2件(昨年5件)。
- 法人後見の受任中の案件は1件。2024年度法人後見を辞任して個人後見等へ移行予定。
- リスクマネジメント部会及び独立型社会福祉士部会は、活動休止。

9. 登録員に対する相談・支援体制の強化

- 登録員に対する相談・支援については、電話相談、受任者面談の機会拡大、また、初心者同行支援、初任者初回報告相談の利用促進を図った。

10. 支部作りの準備

- 支部づくりを準備中。4年前からの課題、登録員増加、依頼件数増大、苦情対応、中核機関や市民後見等の協力等を踏まえ、ばあとなあ千葉の諸事業（コーディネート、研修、相談・支援・苦情対応）を担う支部体制（裁判所毎の地域別の支部）づくりの検討を進めていく。

(5) 司法福祉委員会

2023年度も日本社会福祉士会認定機構の認定研修、刑事司法ソーシャルワーカー実務研修（基礎編・応用編）をオンライン Zoom と千葉県弁護士会館でのハイブリッド研修で実施した。この講座は、千葉県弁護士会と千葉県社会福祉士会の共催となっている。千葉県社会福祉士会会員は、この講座を修了すると司法福祉委員会のメーリグリストに登録することができる。千葉県社会福祉士会が千葉県弁護士（主に国選弁護人）から支援依頼を受けると、司法福祉委員会の刑事司法ソーシャルワーカー登録委員の中からマッチング支援により受任する。受任した司法福祉委員は弁護士と協同し被疑者（障害者・高齢者）の入口支援に関わり支援していく。このマッチング支援事業を充実させるために、学習会を設け受任経験者から支援計画書作成の実践研修と関連する専門講師の講義を受け研鑽を積んでいる。

① 運営委員会の開催

第1回司法福祉委員会

開催日：2023年6月17日(土)10:00~12:00

開催場所：千葉県社会福祉センター3階小会議室2

参加者：10名（宮下、青沼、大浦、吉田、松丸、宮崎、野村、山本、寺崎、小川）

内容：2023年度のスタートにあたり各担当より計画と意見を述べあう。

第2回司法福祉委員会

開催日：2023年9月16日(土)10:00~12:00

開催場所：オンライン Zoom

参加者：9名（宮下、青沼、大浦、吉田、宮崎、野村、寺崎、服部、小川）

内容：認定研修・基礎編の反省と応用編の役員確認、学習会委員から報告。

第3回司法福祉委員会

開催日：2023年12月16日(土)10:00~12:00

開催場所：オンライン Zoom

参加者：8名（宮下、青沼、大浦、松丸、野村、寺崎、服部、山本）

内容：認定研修の反省と学習会委員から結果報告。

第4回司法福祉委員会

開催日：2024年3月13日(土)10:00~12:00

開催場所：オンライン Zoom

参加者：8名（宮下、大浦、吉田、松丸、野村、寺崎、山本、小川）

内容：新年度の委員会、学習会開催日程と新委員長の挨拶。

② 研修

日本社会福祉士会認定研修開催

開催場所：千葉県弁護士会館とオンライン ZOOM によるハイブリッド研修

基礎編：令和5年7月22日、23日

受講者：47名

応用編：令和5年10月7日、8日

受講者：35名

③ マッチング支援

2023年度の受任件数は3件

④ 学習会

第1回学習会

開催日：2023年9月10日（土）（10：00～11：40）

開催場所：オンライン Zoom

参加者：10名

内容：更生支援計画書の作成（実践事例より）

講師：寺崎丈春

第2回学習会

開催日：2023年10月21日（土）10:00～12:00

開催場所：オンライン Zoom

参加者：21名

内容；藤原正範氏（日本福祉大学ソーシャルインクルージョン研究センター）

『非行少年の自立支援に向けて社会福祉士が出来ること』

⑤ ~~その他~~

~~臨時司法福祉委員会~~

~~開催日：2024年4月15日（土）10：00～10：45~~

~~開催場所：オンライン Zoom~~

~~内容：新年度司法福祉委員会委員体制について。~~

(6) 災害対策委員会

○令和5年度災害対策委員会執行体制（理事改選に伴う委員長等の異動）

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
委員長	服部明	服部明	安藤宏之	安藤宏之
副委員長	伊藤佳世子	伊藤佳世子	服部明	服部明

○災害対策委員会の開催

- ・第1回：令和5年5月27日（土）午後1時30分～3時30分 参加者5名（オンライン）
- ・第2回：令和5年10月22日（日）午後1時30分～3時30分 参加者5名（オンライン）

○大規模災害発生時の被災地支援活動

(1) 令和5年台風13号接近に伴う被災地支援活動

- ・第1回災害支援本部会議：9月10日(日)午後7時～9時 参加者6名
- ・第2回災害支援本部会議：9月18日(月)午後7時～9時 参加者5名
- ・主な活動：会HPへの会長声明掲出、災害VC一般ボランティア活動参加の呼掛けなど
- ・被災地支援活動協力者に対する補助金支出：1件(5,000円 茂原市)

(2) 令和6年能登半島地震に伴う被災地支援活動

- ・第1回災害支援本部会議：1月8日(月)午後7時～8時 参加者12名(オンライン)
- ・第2回災害支援本部会議：1月25日(木)書面開催(回答入力用フォームをメール送信)
- ・第3回災害支援本部会議：2月18日(木)書面開催(回答入力用フォームをメール送信)
- ・主な活動：会HPへの会長声明掲出、災害VC一般ボランティア活動参加の呼掛けなど
- ・被災地支援活動協力者に対する補助金支出：0件(令和6年3月31日現在)

○被災地支援活動協力員名簿の登録者数

53名(令和6年3月31日時点。直近の登録名簿更新：令和5年10月)

○第44回九都県市合同防災訓練(千葉県会場)

- 日時：令和5年9月2日(日)午前10時～12時
- 出席者：服部災害対策委員長
- 場所：我孫子市川村学園女子大学
- 参加：災害ボランティアセンター運営訓練に運営スタッフとして参加

○神奈川県社会福祉士会『2023年度災害支援活動者養成研修』における活動報告

- 日時：令和6年2月11日(日)午後1時～3時
- 報告者：服部災害対策委員長
- 内容：2019年台風15号による災害に際して他県社会福祉士会から支援を受けた経験
※ 報告に使用した資料は事務局で保管

○日本社会福祉士会 都道府県社会福祉士会災害担当者会議(オンライン)

- 日時：令和6年2月25日(日)午前10時～12時
- 出席者：服部災害対策委員長
- 内容：『災害福祉支援ネットワーク中央センター』事業実施状況と社会福祉士会への期待
・県士会からの報告(福島県社会福祉士会、宮崎県社会福祉士会)、意見交換

○日本社会福祉士会 関東甲信越ブロック社会福祉士会災害連携会議(オンライン)

- 第1回：令和5年12月19日(火)午後7時～8時30分
- 出席者：服部災害対策委員長、星野災害対策委員、都筑災害対策委員
- 内容：各県士会からの報告、意見交換

第2回 : 令和6年3月25日(月)午前11時~12時
出席者 : 石渡事務局職員
内容 : 日本社会福祉士会岡本副会長(災害対策担当)からの令和6年能登半島地震被災地支援活動の現状と今後の展開予定の説明

○コミュニケーションメディア『災・コ・メ』の発行と配布

目的 : 災害対策委員会と被災地支援活動協力員間のコミュニケーションを強化する
媒体 : A4サイズ2枚のPDFファイル
配布 : 被災地支援活動協力員メーリングリストにてメール添付送信
実績 : 4回発行(4月、7月、10月、2024年1月)

○千葉県災害ボランティアセンター連絡会 定例会 第2回

日時 : 令和5年8月17日(木)午後2時~4時
出席者 : 服部災害対策委員長
内容 : 九都県市合同防災訓練実施計画の確認など

○千葉県災害ボランティアセンター連絡会 運営スタッフ研修(オンライン)

日時 : 令和6年3月6日(水)午後2時~午後4時
出席者 : 服部災害対策委員長
内容 : 令和5年台風第13号災害支援活動報告など

○新規事業 FACEBOOK グループ『災害ソーシャルワーカー交流空間』の開設と情報発信

目的 : 本会会員間の即時・双方向のコミュニケーションツールの創出
運用 : 令和6年2月25日運用開始
参加者 : 23人(令和6年3月31日現在)
実績 : 被災地支援活動に関する報道の転載、被災地派遣者の活動コメントの投稿など

(7) 倫理委員会

会員による倫理綱領違反等が疑われる事案が発生した場合、苦情手続規則に基づき倫理委員会
が審査を行い、本会に所属する社会福祉士の倫理及び資質の向上に努めていく。

2023年9月26日(火)18:20~19:40 倫理委員会を開催した。

(8) 松戸市居住の安定確保支援事業業務委託

常勤の居宅移行支援員1名と非常勤の居宅移行支援員1名を事業課である松戸市役所生活支援課内に配置し、市内だけでなく市外の無料低額宿泊所等に入所している生活保護受給者等に対して積極的に支援を進めてきた。

業務の内容は、無料低額宿泊所に入所している生活保護受給者に対して適切な居宅等が提供されるように支援し、また地域で安定した生活を送り定着できるように自立を促すことにある。事業担当課である生活支援課や市内外の無料低額宿泊所や関連機関との連携により、8名が居宅

等への移行を完了した。8名の移行者のうち、市内の無料低額宿泊所からは6名、残りの2名は市外の無料低額宿泊所からである。

8名の移行先の内訳はアパート6名 介護施設1名 養護老人ホーム1名であった。

2023年度の支援対象者は46名、内新規対象者14名、支援終了者23名（転居や施設入所後、継続支援をした後に課題終了となり支援終了）となった。尚、松戸市独自の転居への条件として、犯罪歴、市役所への返還金、失踪歴（無料低額宿泊所やアパートから）などのある人たちも支援対象者から外される傾向にて2023年度の新規者が14名と例年（2016年度～2022年度は23名～39名）に比べ大幅に少なくなった。

これからは、無料低額宿泊所から入院となった場合には病院から介護施設へ移行となることが多く、そうなるまで限られた期間で入所施設を速やかに探さないといけない為、病院や介護施設との緊密な連携や理解が急務となる。

会として、現事業の役割、あり方、連携について検討を行い、来年度、この事業の継続も含め、松戸市と協議を進めていく方向である。

※委託期間：自2023年4月1日至2024年3月31日 委託金額：12,705,952円